

基本計画

組織の枠を越えた医療機器研究開発拠点である「集中研」を中心に、医工連携・学内連携・産学官連携・地域連携・病学連携による実用化を見据えた融合研究を展開し、次世代医療機器の開発と人材育成を行い、医療現場の課題解決による質の高い医療の提供を目指す。

《環境整備》

医用機器関連の研究・開発・教育・運営体制の充実

徳島大学：研究開発室（集中研方式）

1. 医工連携による医療機器開発の“場”

➢ チームビルディング ↔ 医療現場と企業・工学を繋ぐ

2. 組織の枠を越えた“融合研究”の推進

➢ 研究成果の実用化（製品化）を見据えた研究開発の推進

3. 医療現場のニーズ・ノウハウの抽出と活用

➢ 多職種連携・デザイン思考の導入 ● 大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業 (H25~26, 文科省)

4. 医用機器開発のノウハウの蓄積と活用

➢ 伴走コンサルの知財・薬事・事業化・国際情報の蓄積 イノベーション対話ツール

5. 医用機器開発の産・学リーダー人材の育成

➢ 学部学生・大学院生・研究者・企業人の教育体制の構築

医療機器開発

胸腹水濾過濃縮装置

- 医工連携事業化推進事業 (H25~27, 経産省/AMED)
- 中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業 (H27~28, NEDD)

病院ベッドサイド家具

- ものづくり・商業・サービス革新事業 (H26, 経済産業省)
- とくしま経済飛躍ファンド事業 (H28, とくしま産業振興機構)

腸音図システム

- 橋渡し研究戦略的推進プログラム シーズA (H28~29, AMED)

健診システム

LEDの基盤技術

公立学校共済組合四国中央病院

産学官病 コンソーシアムの構築

✓ 特許 ※ 実用化

- ✓ 目詰まり予防機構
- ✓ マルチリング方式・回路セット
- ※ T-CART (2016)/ M-CART (2018)

- ✓ 多層伸縮機構
- 医療現場の活性化

- ✓ 腸蠕動音の収集・解析
- ストレスケアへの応用

- 臨床研究の推進

- 基礎研究の推進

➢ 研究 臨床 教育

の充実・実証の場

医学・工学系学生、
研修医、若手医師
医療スタッフ・企業人

➢ 研究開発の楽しさを伝える

“次世代医療機器”の開発と人材育成

教育

- イノベーション教育
- 感性・学び続ける姿勢

研究・開発

- 融合研究の推進
- 知財知識の共有

承認申請

- 臨床試験の推進
- 薬事知識の共有

実用化

- 臨床評価体制の確立
- 事業化知識の共有

国際展開

- 国際展開の推進
- 国際情報の共有

“質の高い医療”の提供と産・学・官・病の課題解決

産

- 新製品の開発展開
- 企業収益の増加
- 人材の育成

学

- 研究成果の実用化
- 大型予算の獲得
- 特許収益・寄付の増加

官

- 雇用の創出
- 医療機器産業の活性化
- 医療器輸出額の増加

病

- 医療課題の解決
- 医療スタッフの向上心
- 地域医療の活性化